



教育実習生の頑張りに感謝

現在、3名の大学生が教育実習生として、本校で教員の仕事を学んでいます。

今週で最後となる3週目を迎える福田先生(家庭科)は、昨日、道徳の研究授業を終え、明日、最後の研究授業を予定しています。また、今週で2週目を迎えている溝上先生(保健体育科)は、昨日から1年生の集団宿泊教室に同行し、教科指導等に加え、引率業務について学んでいます。さらに、来週からは杉原先生(音楽)の3週間の教育実習が始まります。

教職という夢に向かって、約1か月にわたり3名もの大学生が本校で学んでいることは、生徒たちにとっても、先生方にとっても、大変よい刺激となっています。

学校にも活気があふれ、生徒たちが授業に真剣に取り組む様子がうかがえます。また、大学生を身近に感じ、将来の自分の姿と重ねているかもしれませ

ん。生徒たちにも、教育実習生の頑張る姿を通して、自分の夢や目標について考え、その実現に向かって力強く歩んでほしいと思います。



第12回 体育大会 大成功！

5月17日(日)に開催しました体育大会には、多くの保護者の皆さま並びに地域の皆さまにご観覧いただき、誠にありがとうございました。

大会当日は天候にも恵まれ、生徒たちは力を出し切り、達成感あふれる大会となりました。

特に3年生にとっては最後の体育大会でした。体育大会に向けて、練習の段階から下級生を引っ張ってくれた3年生のリーダーシップに感謝したいと思います。また、午後の学年クリエーション(3年生)も大変お世話になりました。

「監督辞任記事」から思うこと ～「親」→「木の上に乗って見る」～

蒸し暑さを感じる日が少しずつ増えてきました。来週は台風6号の接近も心配されていますが、校内では、生徒たちが真剣に授業へ取り組む姿が見られ、昼休みには元気な声が響いています。

さて、小学校高学年から中学生にかけては、心も体も大きく成長する時期です。その一方で、「最近あまり話してくれない」「何を考えているのかわからない」と感じる保護者の方もいらっしゃるかもしれません。先日、プロ野球界では、親子間のトラブルをきっかけに監督が辞任するという大変ショッキングな出来事がありました。報道では、姉妹げんかの仲裁の中で感情的になってしまったことが伝えられていました。我が子を思うからこそ、つい強い口調になったり、感情が先に出たりすることは、どの家庭にも起こり得ることかもしれません。しかし、思春期の子どもたちは、大人が思う以上に繊細で、言葉や態度を敏感に受け止めています。教育に関する雑誌等の記事の中には、「思春期の子どもには、“正しさ”より“安心できる関係”が大切」という言葉もありました。まずは「今日どうだった?」「疲れていない?」といった何気ない会話が、子どもたちの安心感につながります。忙しい毎日の中ではありますが、食事の時間や送り迎えのひとときなど、短い時間でも言葉を交わす機会を大切にいただければと思います。学校でも、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。



